

# 接着剤

床材施工用に使用される接着剤を分類し、その分類上の特長・取り扱い方法などについての説明をいたします。

## 接着剤の特長



### ウレタン樹脂系一成分形 (タキボンド#607・タキボンド#701)

この接着剤は空気中、下地中に含まれている水分と反応して硬化する耐水性接着剤です。二成分形のように、主剤、硬化剤を混合しなくてもご使用頂けます。また梅雨期などに発生しやすい接着剤塗布面の結露に対しても優れた性能を持っています。

有機溶剤を含んでいるため引火性、有害性があり、取扱いに注意が必要です。塗床などの非吸水下地へ施工を行う場合は、溶剤の飛散が制限され、床材が膨れる可能性があるため、塗布量を少なくするか、オープンタイムを長くする必要があります。また5℃以下では反応硬化しないため、冬期の施工では取扱いに注意が必要です。



### エポキシ樹脂系二成分形 (タキボンド#601)

この接着剤は主剤と硬化剤を所定の割合で混合、攪拌して使用します。所定の混合割合でなかったり、攪拌が不十分であった場合、十分な接着力を発揮しません。ほとんどの床下地に対し優れた接着力があり耐水性、耐熱性などにも優れています。

有機溶剤を含んでいるため引火性があり、またカブレが起きやすく有害性があります。取扱いには特に注意が必要です。また5℃以下では反応硬化しないため、冬期の施工では取扱いに注意が必要です。

## 下地の湿気と接着剤の耐水性

接着剤に含まれている溶剤・水の飛散(乾燥)によって硬化する一成分形と、反応して硬化する二成分形があります。アクリル樹脂系エマルジョン形などの接着剤は耐水性が劣り、エポキシ樹脂系・ウレタン樹脂系接着剤は耐水性に優れています。

下地水分率が高すぎると接着剤と下地との接着不良が起こります。また、下地からのアルカリ水によって接着剤の分解・再乳化が起こり、期待する強度が得られず継目の縮み、剥がれ、フクレの原因となります。

接着剤に期待する強度を発揮させるには下地の乾燥と用途に適した接着剤の選定が必要です。

試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・  
副資材  
P.281

副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297

# 接着剤

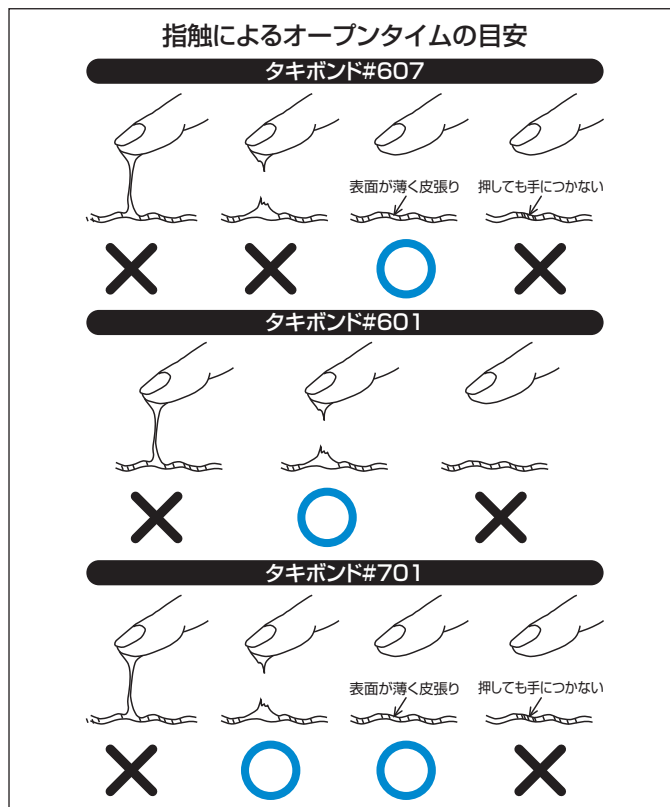
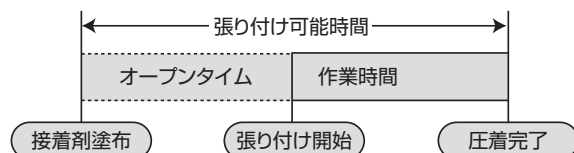
## 接着剤のオープンタイムと張り付け可能時間

接着剤塗布後の時間の経過とともに溶剤の飛散量は増加し、接着剤の反応も進行します。しかし、張り付けまでの時間が長いほど、接着力は低下します。従いまして、床材が溶剤でフクれない溶剤量になった時点がオープンタイムであり、床材の納まりに必要な最低の接着力になった時点が張り付け可能時間です。下記表のように張り付け可能時間からオープンタイムを引いた作業時間に床材を張り付けます。但し、これらのオープンタイム、張り付け可能時間は、床材の種類、下地の材質、接着剤の塗布量、気温、湿度、風通しなどによって左右されます。

オープンタイムの目安(20℃)

| 接着剤       | オープンタイム | 張り付け可能時間 |
|-----------|---------|----------|
| タキボンド#607 | 20~30分  | 40~50分   |
| タキボンド#601 | 30~40分  | 60~70分   |
| タキボンド#701 | 30~40分  | 50~70分   |

※5℃以下では使用しないでください。(硬化反応が進みません)



### ⚠️ 注意 接着剤取扱い上の注意

接着剤に含まれている有機溶剤は危険物であり、引火性があります。また人体への健康障害防止上、次のことに注意して取扱ってください。

#### (I) 作業上の注意

- 接着剤、端部処理材の種類、作業環境によっては有機溶剤中毒予防規則に従った対応が必要な場合があります。
- 火気のある所では使用しないでください。
- 安全データシート(SDS)や取扱い説明書などを作業前によく読んで使用してください。

SDSはタキコンシーアイホームページ <https://www.takiron-ci.co.jp/product/support/index.php> よりダウンロードできます。(PDF形式)

#### (II) 保管上の注意

##### 1 保管数量

接着剤、端部処理材等は消防法の危険物に該当するものがございませう。危険物の類別により指定数量が決められており、指定数量以上の危険物は消防法に従った保管が必要となります。指定数量未満でも各市町村条例にて少量危険物として規定されております。

##### 危険物指定数量

- 第4類第1石油類非水溶性液体(200ℓ)
- 第2類引火性固体(1,000kg)

##### 2 保管場所

- 一定の場所を定め、子供の手の届かない所に保管してください。
- 直射日光・雨水を避け、換気の良い5~35℃で保管してください。
- 高温多湿を避けてください。

##### 3 使用残の接着剤

- 密べいして保管してください。

##### 4 廃棄

- 内容物を使い切ってから容器を破棄してください。
- 産業廃棄物の許可を得た専門業者に委託してください。

試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・  
副資材  
P.281

副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297